



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社
コード番号 9006 URL <http://www.keikyu.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長
四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日

(氏名) 原田 一之
(氏名) 廣川 雄一郎

TEL 03-3280-9135

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 71,073 | △1.1 | 8,175 | 1.6 | 7,636 | 7.7 | 23,049 | 423.0 |
| 28年3月期第1四半期 | 71,874 | △0.8 | 8,043 | 23.3 | 7,089 | 36.5 | 4,407 | 32.3 |

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 18,246百万円 (447.7%) 28年3月期第1四半期 3,331百万円 (△65.0%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 29年3月期第1四半期 | 41.85 | — |
| 28年3月期第1四半期 | 8.00 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-----------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 978,580 | 238,869 | 24.4 |
| 28年3月期 | 1,022,518 | 221,721 | 21.6 |

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 238,401百万円 28年3月期 221,246百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 28年3月期 | — | 3.00 | — | 3.00 | 6.00 |
| 29年3月期 | — | — | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | 3.00 | — | 3.00 | 6.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|---------|------|--------|-------|--------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 第2四半期(累計) | 143,500 | △1.3 | 15,000 | △11.6 | 13,000 | △13.1 | 27,000 | 177.9 | 49.02 |
| 通期 | 312,000 | △0.4 | 29,500 | 99.2 | 25,000 | 112.0 | 35,000 | — | 63.54 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 29年3月期1Q | 551,521,094 株 | 28年3月期 | 551,521,094 株 |
| 29年3月期1Q | 702,644 株 | 28年3月期 | 701,310 株 |
| 29年3月期1Q | 550,819,117 株 | 28年3月期1Q | 550,992,172 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| 4. 補足情報 | 9 |
| 【第1四半期連結損益計算書(前年同期比較)】 | 9 |
| 【セグメント情報(前年同期比較)】 | 10 |
| 【鉄道運輸成績】 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)のわが国経済は、一部弱さがみられたものの、経済対策、金融政策の効果などもあり、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中国をはじめとするアジア新興国の景気が下振れし、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような事業環境のなか、当社グループは、当連結会計年度を初年度とする「京急グループ総合経営計画」に基づき、各事業を推進するとともに、事業の選択と集中を進めるなど経営の効率化を図り、経営基盤の強化に努めました。また、引き続きすべての事業において安全の徹底を図り、安心、良質なサービスの提供に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は、レジャー・サービス事業におけるホテル グランパシフィック LE DA I BAの売却に伴う減収により、710億7千3百万円(前年同期比1.1%減)となりましたが、不動産事業において前年同期にたな卸資産評価損を売上原価に計上した反動などにより、営業利益は81億7千5百万円(前年同期比1.6%増)、経常利益は76億3千6百万円(前年同期比7.7%増)となりました。これに、ホテル グランパシフィック LE DA I BAの土地および建物の譲渡に伴う特別利益として固定資産売却益を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は230億4千9百万円(前年同期比423.0%増)となりました。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

交通事業

鉄道事業では、昨年10月の羽田空港国際線の中国便増便等に伴う訪日外国人の増加や、航空会社と連携した企画商品が順調に推移したことなどにより、羽田空港国際線・国内線ターミナル駅をご利用のお客様が増加しました。また、都心方面および近距離区間の通勤旅客が増加したことなどにより、輸送人員は前年同期比で1.4%増加しました。

さらに、引き続き安全対策を最重要課題とし、上大岡駅構内の高架橋耐震補強工事等を進めたほか、大師線で地下化工事を推進しました。

バス事業では、京浜急行バス株は、4月に、京急蒲田駅バスターミナルの供用開始にあわせ、羽田空港～蒲田駅線などの運行経路を変更するなど、利便性の向上を図りました。

以上の結果、交通事業の営業収益は302億4千6百万円(前年同期比1.2%増)となったものの、鉄道事業における営業費の増加などにより、営業利益は56億5千7百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

なお、京浜急行バス株は、7月に、羽田空港のアクセス向上を図るため、羽田空港～渋谷線、羽田空港～吉祥寺線を増便したほか、羽田空港～桶川駅・上尾駅線の運行を開始しました。

不動産事業

不動産販売業では、当社は、引き続き他社と共同で港町駅前の分譲マンション「リヴァリエC棟」を販売したほか、4月に「ザ・パークハウス 西馬込」の販売を開始しました。また、京急不動産株は、引き続き他社と共同で分譲マンション「ノブレス湘南藤沢センタースクエア」を販売しました。

不動産賃貸業では、交通結節点としてポテンシャルが高まる品川駅前に立地するオフィスビルなどで、高稼働率の維持に努めました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は62億3千1百万円(前年同期比8.8%増)、不動産販売業において前年同期にたな卸資産評価損を売上原価に計上した反動などにより、営業利益は6億4千万円(前年同期比145.8%増)となりました。

レジャー・サービス事業

ホテル業では、京急EXインは、旺盛なビジネス、レジャー需要を取り込み、「京急EXイン 品川駅前」をはじめ各館が好調に推移し、客室単価も上昇しました。また、当社は、羽田空港利用客の需要を取り込むため、4月に「京急EXイン 京急川崎駅前」を、6月に「京急EXイン 品川・泉岳寺駅前」を開業し、全10館合計で2,200室体制となりました。

レジャー施設業では、京急開発(株)は、6月に「天然温泉 平和島」で、深夜早朝時間帯の羽田空港利用客の需要にあわせた送迎バスを増便するなど、新規顧客の獲得に努めました。また、4月に、弘明寺駅～上大岡駅間の高架橋耐震補強工事に伴い休業していた「天然温泉 みうら湯 弘明寺店」をリニューアルオープンしました。

しかしながら、ホテル グランパシフィック LE DA I BAの売却に伴う減収により、レジャー・サービス事業の営業収益は80億2千5百万円（前年同期比22.3%減）、営業利益は10億5千4百万円（前年同期比14.9%減）となりました。

流通事業

百貨店業では、(株)京急百貨店は、10月の開業20周年に向け、5月にリビングフロアを、6月に婦人靴売場をリニューアルするなど、新規顧客の獲得に努めました。また、4月に、上大岡駅構内の耐震補強工事に伴い休業していた食品売場をリニューアルオープンしました。

ストア業では、(株)京急ストアは、6月に、一部店舗で実施していた無料送迎サービスの対象店舗に「京急ストア 葉山店」および「もとまちユニオン葉山店」を加えるなど、地域特性にあわせたサービスの向上を図りました。

(株)京急ショッピングセンターは、4月に京急川崎駅直結の商業施設「ウィング川崎」を開業し、好調に推移しました。

物品販売業では、(株)京急ステーションコマースは、(株)セブンーイレブン・ジャパンと業務提携した駅構内や駅前の店舗で、インターネット受け取りサービスを導入した店舗などが順調に推移しました。

以上の結果、(株)京急ステーションコマースにおいてセブンーイレブンが好調に推移したことなどにより、流通事業の営業収益は256億8千1百万円（前年同期比1.2%増）となったものの、(株)京急百貨店においてリニューアルに伴う売場の一部休業により、営業利益は5億5千2百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

その他

京急建設(株)は、鉄道の安全対策工事等を行ったほか、地方公共団体等から受注した建物改修工事等を行いました。また、京急サービス(株)は、6月に京急川崎駅直結の駅前ビルに認可保育所「京急キッズランド京急川崎駅前」を開業しました。

以上の結果、その他の事業の営業収益は94億2千7百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は2億3千8百万円（前年同期比69.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、建物及び構築物や土地の減少などにより、前連結会計年度末と比べ439億3千8百万円減少しました。

負債は、有利子負債や支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末と比べ610億8千6百万円減少しました。

また、純資産は、その他有価証券評価差額金の減少はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末と比べ171億4千7百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における連結業績は概ね想定範囲内で推移していることから、平成29年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績見通しについては、平成28年5月11日に開示した内容を変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ32百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 43,891 | 50,289 |
| 受取手形及び売掛金 | 16,185 | 12,767 |
| 商品及び製品 | 2,625 | 2,764 |
| 分譲土地建物 | 57,250 | 58,936 |
| 仕掛品 | 1,788 | 1,954 |
| 原材料及び貯蔵品 | 585 | 579 |
| 繰延税金資産 | 3,592 | 2,422 |
| その他 | 6,423 | 7,088 |
| 貸倒引当金 | △20 | △17 |
| 流動資産合計 | 132,321 | 136,784 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 309,046 | 291,804 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 38,509 | 36,759 |
| 土地 | 154,005 | 137,077 |
| 建設仮勘定 | 259,307 | 255,402 |
| その他(純額) | 5,885 | 5,827 |
| 有形固定資産合計 | 766,755 | 726,871 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,957 | 2,898 |
| その他 | 5,885 | 5,488 |
| 無形固定資産合計 | 8,843 | 8,386 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 65,038 | 57,136 |
| 長期貸付金 | 1,612 | 1,608 |
| 繰延税金資産 | 2,890 | 3,114 |
| 退職給付に係る資産 | 22,466 | 22,214 |
| その他 | 22,788 | 22,656 |
| 貸倒引当金 | △198 | △192 |
| 投資その他の資産合計 | 114,598 | 106,537 |
| 固定資産合計 | 890,196 | 841,796 |
| 資産合計 | 1,022,518 | 978,580 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 39,702 | 29,908 |
| 短期借入金 | 126,853 | 126,069 |
| コマーシャル・ペーパー | 20,000 | — |
| 未払法人税等 | 3,380 | 2,143 |
| 前受金 | 6,473 | 7,555 |
| 賞与引当金 | 1,366 | 1,427 |
| 役員賞与引当金 | 94 | 1 |
| その他の引当金 | 745 | 726 |
| その他 | 29,116 | 31,386 |
| 流動負債合計 | 227,732 | 199,218 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 100,000 | 70,000 |
| 長期借入金 | 226,909 | 219,805 |
| 繰延税金負債 | 7,789 | 12,308 |
| 役員退職慰労引当金 | 357 | 346 |
| 退職給付に係る負債 | 10,821 | 9,929 |
| 長期前受工事負担金 | 199,485 | 201,944 |
| その他 | 27,700 | 26,157 |
| 固定負債合計 | 573,064 | 540,492 |
| 負債合計 | 800,796 | 739,710 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 43,738 | 43,738 |
| 資本剰余金 | 44,158 | 44,158 |
| 利益剰余金 | 112,515 | 134,480 |
| 自己株式 | △608 | △610 |
| 株主資本合計 | 199,803 | 221,766 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 16,037 | 10,871 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 5,405 | 5,762 |
| その他の包括利益累計額合計 | 21,442 | 16,634 |
| 非支配株主持分 | 475 | 468 |
| 純資産合計 | 221,721 | 238,869 |
| 負債純資産合計 | 1,022,518 | 978,580 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 営業収益 | 71,874 | 71,073 |
| 営業費 | | |
| 運輸業等営業費及び売上原価 | 55,653 | 54,175 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,177 | 8,721 |
| 営業費合計 | 63,830 | 62,897 |
| 営業利益 | 8,043 | 8,175 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 23 | 21 |
| 受取配当金 | 318 | 417 |
| 持分法による投資利益 | 156 | 165 |
| その他 | 194 | 214 |
| 営業外収益合計 | 692 | 818 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,561 | 1,228 |
| その他 | 85 | 129 |
| 営業外費用合計 | 1,646 | 1,358 |
| 経常利益 | 7,089 | 7,636 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 27,490 |
| 工事負担金等受入額 | 59 | 200 |
| 特別利益合計 | 59 | 27,691 |
| 特別損失 | | |
| 社債償還損 | - | 1,178 |
| 投資有価証券評価損 | - | 452 |
| 固定資産圧縮損 | 59 | 200 |
| 固定資産除却損 | - | 58 |
| 特別損失合計 | 59 | 1,889 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,089 | 33,438 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,402 | 2,011 |
| 法人税等調整額 | 1,269 | 8,371 |
| 法人税等合計 | 2,671 | 10,383 |
| 四半期純利益 | 4,417 | 23,055 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 9 | 5 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,407 | 23,049 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 4,417 | 23,055 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △736 | △5,166 |
| 退職給付に係る調整額 | △349 | 357 |
| その他の包括利益合計 | △1,085 | △4,808 |
| 四半期包括利益 | 3,331 | 18,246 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,321 | 18,240 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 9 | 5 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 交通事業 | 不動産事業 | レジャー ・サービス 事業 | 流通事業 | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|------------------------|--------|-------|---------------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| 営業収益 | | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 29,310 | 4,092 | 9,457 | 25,038 | 3,974 | 71,874 | — | 71,874 |
| セグメント間の内部営業 収益又は振替高 | 570 | 1,637 | 866 | 333 | 4,777 | 8,184 | △8,184 | — |
| 計 | 29,881 | 5,730 | 10,324 | 25,371 | 8,751 | 80,058 | △8,184 | 71,874 |
| セグメント利益 | 5,791 | 260 | 1,239 | 580 | 140 | 8,012 | 30 | 8,043 |

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 交通事業 | 不動産事業 | レジャー ・サービス 事業 | 流通事業 | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|------------------------|--------|-------|---------------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| 営業収益 | | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 29,663 | 4,582 | 7,092 | 25,251 | 4,484 | 71,073 | — | 71,073 |
| セグメント間の内部営業 収益又は振替高 | 582 | 1,649 | 932 | 430 | 4,942 | 8,538 | △8,538 | — |
| 計 | 30,246 | 6,231 | 8,025 | 25,681 | 9,427 | 79,611 | △8,538 | 71,073 |
| セグメント利益 | 5,657 | 640 | 1,054 | 552 | 238 | 8,144 | 31 | 8,175 |

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 (会計方針の変更)に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に變更しております。当該變更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ「交通事業」で6百万円、「不動産事業」で11百万円、「レジャー・サービス事業」で13百万円、「流通事業」で0百万円、「その他事業」で0百万円増加しております。

4. 補足情報

【第1四半期連結損益計算書(前年同期比較)】

| | 前第1四半期 連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期 連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 増減額 | 増減率 |
|------------------|---|---|--------|-------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % |
| I 営業収益 | 71,874 | 71,073 | △800 | △1.1 |
| II 営業費 | 63,830 | 62,897 | △932 | △1.5 |
| 1. 運輸業等営業費及び売上原価 | 55,653 | 54,175 | △1,477 | △2.7 |
| 2. 販売費及び一般管理費 | 8,177 | 8,721 | 544 | 6.7 |
| 営業利益 | 8,043 | 8,175 | 132 | 1.6 |
| III 営業外収益 | 692 | 818 | 126 | 18.2 |
| 1. 受取利息 | 23 | 21 | △1 | △6.5 |
| 2. 受取配当金 | 318 | 417 | 98 | 30.9 |
| 3. 持分法による投資利益 | 156 | 165 | 9 | 5.8 |
| 4. その他 | 194 | 214 | 20 | 10.3 |
| IV 営業外費用 | 1,646 | 1,358 | △288 | △17.5 |
| 1. 支払利息 | 1,561 | 1,228 | △333 | △21.3 |
| 2. その他 | 85 | 129 | 44 | 52.5 |
| 経常利益 | 7,089 | 7,636 | 547 | 7.7 |
| V 特別利益 | 59 | 27,691 | 27,632 | — |
| 1. 固定資産売却益 | — | 27,490 | 27,490 | — |
| 2. 工事負担金等受入額 | 59 | 200 | 141 | 238.0 |
| VI 特別損失 | 59 | 1,889 | 1,830 | — |
| 1. 社債償還損 | — | 1,178 | 1,178 | — |
| 2. 投資有価証券評価損 | — | 452 | 452 | — |
| 3. 固定資産圧縮損 | 59 | 200 | 141 | 238.0 |
| 4. 固定資産除却損 | — | 58 | 58 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,089 | 33,438 | 26,349 | 371.7 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,402 | 2,011 | 609 | 43.4 |
| 法人税等調整額 | 1,269 | 8,371 | 7,101 | 559.3 |
| 法人税等合計 | 2,671 | 10,383 | 7,711 | 288.6 |
| 四半期純利益 | 4,417 | 23,055 | 18,637 | 422.0 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 9 | 5 | △4 | △43.3 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,407 | 23,049 | 18,642 | 423.0 |

【セグメント情報(前年同期比較)】

| | 前第1四半期 連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期 連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 増減額 | 増減率 |
|---------------|---|---|--------|-------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % |
| 交通事業 | | | | |
| 営業収益 | 29,881 | 30,246 | 364 | 1.2 |
| 営業利益 | 5,791 | 5,657 | △133 | △2.3 |
| 不動産事業 | | | | |
| 営業収益 | 5,730 | 6,231 | 501 | 8.8 |
| 営業利益 | 260 | 640 | 380 | 145.8 |
| レジャー・サービス事業 | | | | |
| 営業収益 | 10,324 | 8,025 | △2,298 | △22.3 |
| 営業利益 | 1,239 | 1,054 | △185 | △14.9 |
| 流通事業 | | | | |
| 営業収益 | 25,371 | 25,681 | 309 | 1.2 |
| 営業利益 | 580 | 552 | △27 | △4.7 |
| その他 | | | | |
| 営業収益 | 8,751 | 9,427 | 675 | 7.7 |
| 営業利益 | 140 | 238 | 97 | 69.3 |
| 合計 | | | | |
| 営業収益 | 80,058 | 79,611 | △447 | △0.6 |
| 営業利益 | 8,012 | 8,144 | 131 | 1.6 |
| 調整額 | | | | |
| 営業収益 | △8,184 | △8,538 | △353 | — |
| 営業利益 | 30 | 31 | 0 | 3.0 |
| 四半期連結損益計算書計上額 | | | | |
| 営業収益 | 71,874 | 71,073 | △800 | △1.1 |
| 営業利益 | 8,043 | 8,175 | 132 | 1.6 |

【鉄道運輸成績】

| | 前第1四半期 連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期 連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 増減 | 増減率 |
|--------|---|---|-------|-----|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % |
| 旅客運輸収入 | | | | |
| 定期 | 7,761 | 7,842 | 80 | 1.0 |
| 定期外 | 11,863 | 12,069 | 206 | 1.7 |
| 計 | 19,625 | 19,912 | 287 | 1.5 |
| 輸送人員 | 千人 | 千人 | 千人 | % |
| 定期 | 65,670 | 66,448 | 778 | 1.2 |
| 定期外 | 50,805 | 51,703 | 898 | 1.8 |
| 計 | 116,475 | 118,151 | 1,676 | 1.4 |